

平成23年度 第3回函館市行財政改革推進統括会議

日時 平成23年12月29日（木）10：30～11：30
会場 市長会議室
参集者 工藤市長，中林副市長，片岡副市長，山本教育長，秋田企業局長，
渡辺企画部長，上戸総務部長，大竹財務部長

議題 ◎平成23年度事業仕分け（第1回目，第2回目）判定結果に対する考え方
の修正について
◎平成23年度事業仕分け（第3回目）判定結果に対する考え方について
<対応：小林行政改革課長>

◆議題の趣旨◆

前回指摘した修正内容の確認および平成23年11月に実施した事業仕分けの判定結果に対する考え方についての協議を行いました。

◆協議の結果◆

修正内容は了承され，考え方については一部修正となりました。

◆主な発言◆

◎各評価委員からの主な意見について

（工藤市長）

委員の意見にもあるように，補助金の見直しは第三者機関で実施すべきではないか。平成25年度の予算への反映に向けて取り組んでほしい。

（財政課長）

来年度から取り組み，平成25年度予算に反映したい。

◎函館市文化・スポーツ振興財団補助金

（中林副市長）

部局の考え方では「多くの市民に求められる事業を選定する」とあるが，これまで実施している方法を否定できないのではないか。

（行政改革課長）

良い内容のものであっても市民ニーズがないものは集客が見込めないため，市民ニーズ（集客力）のある事業の実施に努めるといった趣旨の表現であった。

（総務部次長）

少し言い過ぎの面もあった。文化・芸術の振興・発展という意味では，一部のニーズしかないような事業であっても実施する必要がある。

(行政改革課長)

肯定的な表現も含めて修正したい。

◎ものづくりステップアップ事業補助金

(工藤市長)

新しい事業だからといって事業を継続するという判断にはならない。見極めが必要。

(行政改革課長)

廃止ということも視野に入れ、表現を再考したい。

◎市民創作「函館野外劇」開催補助金

(工藤市長)

所管部局の考えにある「自立した事業継続」は、現実的には難しいのではないか。今後の実施については、検討する必要がある。

(行政改革課長)

その点を踏まえて修正したい。

なお、修正内容の確認については、個別に了承を得ることとしたい。

〈一同了承〉
